

アマゾン資料有効活用予算削除

3月市議会閉会 自民会派が反対「行革後戻り」

鶴岡市議会3月定例会が3月22日閉会しました。

平成31年度一般会計予算は、アマゾン自然館・民族館の資料有効活用検討事業に、新政クラブ（自民）が「行革で廃止が決まったものであり後戻りできない」として反対し、事業費480万円を削除して予備費に回す修正案を提出。賛成多数で可決され、同事業費を除く予算案が全会一致で可決・承認されました。

に反対した自民会派に対し、市民からは「貴重な資料的価値を認めないのか。榎本前市政の過去にこだわらず前に進めるべきだ」との批判の声が議員団に届いています。

アマゾン資料再評価は後戻りではない有効活用は行政責任

討論では、20日の予算特別委員会で加藤鉦一議員が、22日の本会議で菅井巖議員が、当局の原案賛成の討論の中で修正案に反対の意見を述べました。

加藤鉦一議員は、「鶴岡市にはアマゾン民族館（出羽庄内国際村内）、自然館（月山あさひ博物館）があり、民族学的資料1万

点、生物学的資料合わせて2万点以上が収蔵されていたが、市の行財政改革で2014年3月末で閉館した。市の原案は閉館ではなく、合併後2ヵ所ある施設の統合だった

が、2010年9月24日の第4回行財政改革推進委員会で、佐藤正明会長の「鶴岡市の入口に相応しくない」との声で閉館に追い込まれた。

19日の山形新聞の読者の声にあるように、「前に進めるための再評価だという皆川市長のコメントに大いに同感し賛成する。『あくまで市民の視点をスタートにして良識のある判断をしてください。』との声を議会は真摯に受け止めるべきだ」と述べました。

菅井巖議員は、「この事業は、歴代の市政と議会が携わったことであり、事業が終了し閉館したからと言って、その返還については自治体としての道義的な対応と責任が求められる。保管されている資料の全てが評価されていないことから、このままでは有効活用についての方策が見いだせないままとなる。」

市当局も述べている通り、後戻りでなく、資料の所有者と共に、しっかりとした有効活用を図るために前進させるためのものだ」と述べました。

（2面につづく）

農業人材育成施設に新政ク「説明不十分」

30年度一般会計補正予算では、県の旧いこいの村庄内を活用する農業人材育成拠点施設の整備に、新政クラブが「議会に対する説明が不十分」として反対の意向を示していました。

同会派が、市が協定締結者の中心的役割を担う、県に対して最大の支援を要請する、施設改修は財政負担も考慮し設計に当たるなどの6項目の附帯決議を提案し、補正予算は賛成多数で可決されました。

新政クラブの附帯決議は、日本共産党市議団と市



戦争法廃止!安倍改憲発議阻止!市民集会が19日、市役所前で行われ、日本共産党市議団から加藤鉦一、山田守、菅井巖の3市議が参加しました。関とおる県議(右端)が来賓を代表して挨拶しました。

2019年3月議会 会派で賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対) ※=棄権(退席)

議案	共産党		無		市民クラブ		政友公明		新政クラブ										齋藤久 議長														
	長谷川剛	坂本昌栄	山田守	菅井巖	加藤鉦一	草島進一	渡辺洋井	田中宏	石井清則	加賀山茂	小野由夫	秋葉雄	富樫正毅	中沢洋	黒井浩之	小野寺佳克	本間信一	阿部寛		本間正芳	佐藤昌哉	佐藤博幸	石塚慶	菅原一浩	尾形昌彦	五十嵐一彦	野村廣登	洪谷耕一	佐藤文一	本間新兵衛			
アマゾン資料の再評価と有効活用480万円に反対し、平成31年度一般会計予算から減額する新政クラブの修正案	●	欠	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
旧いこいの村庄内を活用した農業研修拠点施設整備の30年度補正予算	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30年度補正予算に対する新政クラブの附帯決議	●	欠	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
除雪対策費に1億4,560万円を追加し14億8,140万7千円とする補正予算	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※坂本昌栄議員と草島進一議員は病気のため欠席

(一面のつづき)

共産党提案「介護制度・従事者処遇改善」全会一致

「介護保険制度の改善と介護従事者の処遇改善等に関する意見書」が全会一致で可決されました。

請願では、12月議会で継続審査となっていた「ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願」(山形県ハイヤー協会・全自交山形地方本部)が賛成多数で採択され、意見書が提出されました。

追加議案として、県から旧いこいの村庄内の9798万円の財産取得、及び30年度一般会計補正予算に除雪対策費1億4560万円が提案され原案通り可決されました。

旧いこいの村庄内9798万円で取得

意見書では、日本共産党市議団が提案した

今年末で任期満了と

なる加藤忍教育長の後任に、布川敦氏を任命することに同意しました。文化会館問題で答申受け決議
自公会派は「議会に責任なし」

決議を全会一致で可決しました。
3月15日に日本共産党市議団と市民クラブが議長に対し、「市文化会館建設に関する議会の責任について、議員間で協議を行うため

議員全員協議会の開催」を求めましたが、22日、議長から「開催する考えはない」との回答がありました。同問題で、自公会派は「議会に責任はない」との意見です。

実施計画に「ごみ処理有料化検討」

市廃棄物減量等推進審議会
平成30年度第2回市見解と、最終処分場については岡山処分場の残量見込みと、建設が進められる大荒処分場でのサンドイッチ・セル方式による埋立方法などについての説明がありました。

31年度の市一般廃棄物処理計画案について市担当課より、一般廃棄物排出量を前年度比1・5%減の4万602トン、リサイクル率12・1%など、ごみ減量等の計画値やごみ処理実施等について提案がされました。

事業系ごみの袋7月から変更

変更点は、事業系一般廃棄物のごみ焼却施設搬入時のごみ袋使用について、内容物を容易に確認できるものとし、ごみ袋本体に限りプラスチック製も認め、3カ月の周知期間を設け今年7月から実施するとしています。

学童保育専用施設と屋内遊戯施設の整備を

市児童福祉審議会委員から訴え

平成30年度第1回鶴岡市児童福祉審議会が18日開かれ、本市の子育て支援事業や平成31年度の保育所等の入所状況などについて協議しました。

学童保育専用施設の整備を

学童保育について複数名の委員から意見が出されました。

委員は、「新入生の半数以上が入所を希望し、急遽ロッカーを手配するなど受け入れが大変。生活の場として40名が言われているが、必要な整備、専用施設の整備をお願いしたい。また、指導員のなり手不足が深刻。3月の『広報つるおか』に指導員が特集されて反響があった」と、施設・設備と指導員の不

また、ある委員は「山形・児童などにある屋内大型遊戯施設がない。ソライができたが、3歳児以上で親子

足を訴えました。

これについて、市当局は「大きな問題としてとらえている。需要が高まっていることも認識している。学校周辺の施設確保。総合計画の中でも量の確保と質の確保を考えている。専用施設も含めた、また、児童館と複合もあるが考えていきたい。国では、人員確保から指導員の配置を緩める方向だが、子どもは安全第一で市としては緩めない」と答えました。

また、児童館と複合もあるが考えていきたい。国では、人員確保から指導員の配置を緩める方向だが、子どもは安全第一で市としては緩めない」と答えました。

また、ある委員は「山形・児童などにある屋内大型遊戯施設がない。ソライができたが、3歳児以上で親子

また、ある委員は「山形・児童などにある屋内大型遊戯施設がない。ソライができたが、3歳児以上で親子

屋内遊戯施設の設置を

また、ある委員は「山形・児童などにある屋内大型遊戯施設がない。ソライができたが、3歳児以上で親子



キッズドームソライの屋内遊具(2018年10月の施設見学会にて)